



野尻哲史と考える！ 殖やした後の減らし方

第9回 インタビューから：親子関係と資産の取り崩し

2026年5月29日

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

独身、節約、自由に生きる

■ 新築に引っ越す：Jさん

- 契約社員で生涯を過ごす。年収は150万円。親族所有の家に仮住まい。TV、エアコン、洗濯機さえ無い生活
- 親と同居で貯蓄。子どもの頃のお小遣いを郵便局の定期で、祖母のビッグを相続、結婚資金として養老保険⇒これを運用の元手に。Amazonなどの米国株に
- 資産は3700万円。そこから2000万円で家を新築。1650万円くらいが手元に。個人年金が無くなる85歳以降は公的年金と企業年金合計で86万円の収入に。

■ もう仕事はしないと60歳で完全退職：Kさん

- 離婚して息子を育てる。子育てと仕事で、60歳になったら完全退職に。年金も繰上げ受給。
- 貯蓄は退職直前の住宅購入の頭金に。退職金2100万円のうち2割を株式投資に。
- 年金と資産収入で生活費380万円弱を賄う。息子の負担は住宅ローンの年42万円の返済のみ。90歳で資産枯渇と試算だが、息子の負担増で調整可能。独特な生前贈与かも。

居住状況、配偶者有無の満足度

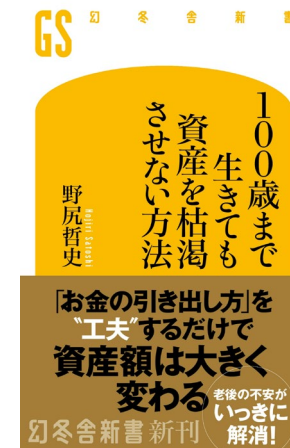
	居住状況別の満足度			配偶者の有無別の満足度		
	持ち家	賃貸	差異	配偶者あり	配偶者なし	差異
生活全般	3.4	2.8	△0.6	3.4	2.9	△0.6
健康水準	3.3	3.1	△0.2	3.4	3.1	△0.3
仕事・やりがい	3.2	3.0	△0.2	3.2	3.0	△0.2
人間関係	3.5	3.3	△0.2	3.6	3.2	△0.4
資産水準	3.0	2.4	△0.6	2.9	2.6	△0.3

(注)満足度は、満足できない=1点から、満足できる=5点の5段階評価。3点はどちらでもない。
 (出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2026年

自己紹介



- 野尻哲史 合同会社フィンウェル研究所代表
HPは<https://www.finwell.co.jp>
無料メルマガ登録は<https://www.finwell.co.jp/mail-magazine/>
- 定年を機に、2019年5月に合同会社フィンウェル研究所を立ち上げ、代表に。資産の取り崩し、地方都市移住、雇用継続などの退職後の生活に関する提言を行っている。著書に『100歳まで残す 資産「使い切り」実践法』（日本経済新聞出版）、『60歳からの資産「使い切り」法』（日本経済新聞出版）、『100歳まで生きても資産を枯渇させない方法』（幻冬舎）など多数。
- 合同会社フィンウェル研究所は、「高齢者が安心して資産活用できる超高齢社会を目指す」ことを念頭にThought Leadership活動を行っている。



重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所